

令和４年４月定例教育委員会会議録

令和４年４月１日 定例熊谷市教育委員会を熊谷市立熊谷西小学校体育館内まごころルームに招集する。

○ 出席者

野原 晃、加藤 道子、松島 佳代子、齋藤 洪太、大石 聡一

○ 出席事務局

教育次長	権田 宣行
教育総務課長	長谷川 和博
学校教育課長	爪川 由美子
社会教育課長	野村 和弘
教育総務課副課長	浅見 弘江
教育総務課主査	吉場 美和

１１時４０分 ４月定例教育委員会開会

教育長が、令和４年４月定例熊谷市教育委員会の開会を宣言し、本会議の会議録の署名人に松島委員を指名した。

事務局から傍聴希望者がいない旨の報告があった。

教育総務課長から、３月臨時教育委員会会議録については、次回の教育委員会で承認いただけるよう準備をするとの説明があった。

日程第１（報告第４－１号）寄附申出について

教育総務課長から、ふるさと納税「熊谷教育の推進のため」として、２月１１日から３月１０日までに、計２件、金額にして３０，０００円の寄附申出があったとの報告があった。

また、保健給食関連では、学校給食のためとして、匿名の方より現金１０万円と、子供たちの歯と口の健康づくりのためとして、一般社団法人熊谷市歯科医師会より「わたしの歯っぴーファイル」１，５２０冊の寄附申出があったとの報告があった。

日程第１（報告第４－２号）４月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、次回５月定例教育委員会は、４月２６日（火）に開催するとの説明があった。

また、今後の予定として、埼玉縣市町村教育委員会連合会総会、埼玉縣市町村教育委員会教育委員研究協議会等の日程について報告があった。

日程第 1（報告第 4－3 号）令和 4 年度熊谷教育の取組について

学校教育課長から、熊谷教育をさらに推進するため、今年度から新たに「新熊谷プロジェクト」として、引き続き学力日本一を目指すとの説明があった。

具体的には、総合的な学習の時間を中核としたカリキュラム改善により、教科横断的で、現実社会に存在する本物の実践に近づけたオーセンティックな授業を取り入れ、子供たちにしっかり学力を身につける指導を行っていくとの説明があった。

また、「生きる力」を育むための土台として、「熊谷の子どもたちは、これができます！『4つの実践』と『3減運動』」、「スマホ使い方宣言」、「タブレット端末の約束 5 か条」にも積極的に取り組み、大人が手本となり、学校・家庭・地域が一体になって推進していくとの説明があった。

日程第 2（議案第 16 号）学校敷地の一部変更について

教育総務課長から、本議案は、現在、星宮小学校と大麻生小学校の学校敷地として使用している国有地について、関東財務局から用地を取得するものであるとの説明があった。

星宮小学校は、校舎から南側の駐車場部分の土地を、大麻生小学校は、校庭内の一部の土地を、それぞれ取得する。本件については、財産整理を進めるため、昨年度から関東財務局と協議を進めてきたが、令和 4 年度予算で用地取得のための予算が確保できたことから、今回両校の土地について取得をするとの説明があった。

（その他）後援等承認決定した事業一覧について

教育総務課長から、2 月 16 日から 3 月 15 日までに後援等承認決定した事業が 7 件あったとの報告があった。

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和 4 年 4 月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

（12 時 00 分 閉会）

署名 教育長 野原 晃

委 員 松島 佳代子